

子どもから大人までの成長・変化が一目でわかる！ 学研の学びの地図「学びマップ」が2024年グッドデザイン賞を受賞 ～教育情報を体系的にまとめ、Webで一般公開～

株式会社 学研ホールディングス(東京・品川区／代表取締役社長：宮原博昭)の調査・研究機関である学研教育総合研究所が公開した“学研版学びの地図”「学びマップ」が、10月16日、2024年度グッドデザイン賞(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞いたしました。



『学びマップ』サイト：<https://www.gakken.jp/kyouikusouken/manabimap/>

■「学びマップ」とは

「学びマップ」とは、株式会社 学研ホールディングスのグループ会社、株式会社 Gakken の「学び宣言」に基づき、一生における成長の変化や「学び」をまとめたものとなります。

その年齢の目標やゴールを示したものではなく、その時期に多く見られる姿やその世代特有の行動、考え方をとらえつつ、多様な学びや成長・変化の流れを見る能够性がある、学研版「学びの地図」です。

今回は乳幼児～小学6年生まで分を公開しました。人の成長・変化と学びの流れを可視化し、ビジュアル的にも優れていると評価されたことは大変心強く、今後、学研グループが「すべての人が心豊かに生きるために学び」を提供し続けるにあたり、ゆるやかな指針になるべく、発信していきたいと考えています。

※発達や学びは年齢によって一定のゴールがあるわけではなく、一つの目安です。それぞれの学びのステージを見通すための「きっかけ」として、この「学びマップ」をご活用ください。

■「学びマップ」3つの特徴

- 特徴特徴①：0歳から12歳までの成長や変化が流れでわかる！
- 特徴②：その年齢の大きなトピックが抜粋されているので、特徴をとらえやすい
- 特徴③：コラムで「いまどきの子どもたちの実態もわかる！」

■グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを生かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

■審査員の評価コメント

- ・「人の成長過程に大切な要素をユーモラスなイラストとポップなデザインで表現した学びのガイド。年齢や学年に応じて、意識や行動の変化、必要な学習、趣味嗜好などをピックアップ、縦型に配置することで体系的にまとめ、一般には掴みづらい教育情報を親しみやすいデジタルコンテンツとして教育関係者や一般層へ公開したことが貴重」
- ・「今後、中学生～終末期へと対象範囲を広げ、このマップが私たちの人生を豊かにする羅針盤の一つとなることを期待」

■受賞を受けて

●学研教育総合研究所所長 川田夏子

このたび「学びマップ」は、子どもが生まれてから小学校を卒業するまでの部分においてグッドデザイン賞を受賞いたしました。「学びマップ」は2020年に、幼児教育部門にて0歳～6歳までの幼児部分を研究し、体系立てました。その後、学研の学びとして0歳～100歳の「学びマップ」の体系立てに着手し、2024年5月にWeb版として乳幼児～小学生分を公開しました。

「学びマップ」は学研グループの根幹である教育デザインでもあります。私たちが込めた思いと、その思いを伝えるべく考え抜いたカタチを評価していただけたことが何よりの喜びです。人生100年時代、100歳まで続く学びを公開していきます。

●プロジェクトリーダー 新美亜希子

子どもたちが成長している姿は可視化されにくいです。保護者だけでなく、地域や社会のみなさん、子ども自身にも「学びマップ」を知っていただき、学びの瞬間に気づいてすてきなコミュニケーションが生まれることを願っています。

●クリエイティブディレクター 伊藤弘希

デザインの力と、エビデンスをかけ合わせ、学研グループの根幹となるプロダクトを制作いたしました。子育て中の方には子育てに自信を、迷ったときにはゆるやかな指標にしていただきたいです。新しく家族を迎える方には家族の成長が待ち遠しくなるような、そんな気持ちになっていただけるとうれしいです。

●アートデザイナー 角野麻子

デザイン制作中、グループディスカッションの場で子どもの頃をふり返りました。没頭したこと、好きだったことを思い出し、大人になって生かしていることにたくさん気づきました。「学びマップ」には、忘れていた子どもの頃の気づきがいっぱい詰まっています！

●リードデザイナー 関口秀俊

自分自身が子育て中ということもあり、制作した学びマップを眺めると、子どもが小さかった頃を想い出し、アルバムを見ているような感覚になります。まるで物語を読んでいるような感覚で味わってもらえた嬉しいです。

■学研教育総合研究所について

2005 年、学研ホールディングスの前身である(株)学習研究社創立 60 周年を記念して設立。学校現場との話し合いや、研究機関・大学研究者や文部科学省ほか、各省庁と多くの接点を持って得た貴重な知見の数々を活動の基礎にしている。

毎年公開している『白書シリーズ』では、幼児から小学生、中学生、高校生を対象とした大規模なアンケート調査によって、子どもたちの生活や嗜好、学びの実態などのデータを収集。時代とともに変化する子どもたちの「いま」を伝えている。

■学研ホールディングスについて (<https://ghd.gakken.co.jp/>)

1946 年創業の教育・医療福祉関連事業を展開する持株会社。教育分野では、「学研教室」を始めとする教室・学習塾事業、「科学」と「学習」に代表される学習教材の出版コンテンツ事業、教科書・保育用品など園・学校事業を、医療福祉分野では、サービス付き高齢者向け住宅事業や認知症グループホーム事業、保育園・学童などの子育て支援事業を展開。グローバル 150 か国以上で教育・医療福祉に関わる活動を行っています。2023 年 11 月、新たに掲げた大志(Aspiration)「人の可能性をどこまでも追及する会社へ」の実現を目指し、子どもから学生、社会人、シニアまで、あらゆる世代の好奇心に寄り添い、すべての人の挑戦を応援する企業として、人と社会の可能性の拡大に貢献してまいります。2023 年 9 月期売上高 1,641 億円、連結子会社 75 社。

東京証券取引所プライム市場上場(証券コード:9470)。

【本リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社 学研ホールディングス 広報室

TEL: 03-6431-1059 Mail: gpress9470@gakken.co.jp